

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 植竹小学校

「すすんでまなぶ子」「たすけあう子」「げんきな子」の学校教育目標のもと、今年度、開校73年目を迎え、「児童にとって学びがいのある学校」「保護者にとって頼りがいのある学校」「教職員にとって働きがいのある学校」「地域にとって誇りのもてる学校」の実現に向けて、教育活動を実践しています。



■所在地：さいたま市北区植竹町2丁目1番地 ■電話：048-663-7627
 ■FAX：048-663-9885 ■交通：JR 宇都宮線土呂駅より徒歩10分

01 地域のよさ、人とのかかわりを知る活動



本校では、児童が学区探検や地域めぐり、施設見学を通して、地域の様子やよさ、地域に暮らす方たちとのかかわりを学ぶ機会を設けています。低学年の「通学路探検」や「まち探検」では、学校の周りの様子や施設、地域で暮らす方たちと自分たちとのかかわりについて学習します。中学年では、自分のまちの素敵なおところを見つけ、調査し、まとめて発表する学習をしています。活動したことをもとに、児童は自分の住むまちの特徴などを知り、地域のよさを広めるためにできること、自分が地域のためにどんなことができるか考える機会をもちます。



これらの活動を通して、地域で暮らす方々の思いや願いを知るとともに、自分も地域の一員であることを自覚していきます。

02 盆栽のよさ・素晴らしさを実感し、発信する活動



本校の学区には、「盆栽町」があり、古くから盆栽に関する職業に携わる方々がたくさん住んでいます。第5学年の総合的な学習の時間では、「日本の文化を知ろう」と単元設定し、地域の特徴である盆栽について学習しています。児童は、盆栽に関する施設を見学後、自分で課題を設定し、調査、まとめ、発表を行います。



03 地域の特徴的な産業、人材を活用しての活動



本校では、学区内の盆栽の関係施設の方をお招きして、5・6年児童を対象に「盆栽教室」を実施しています。盆栽教室では、盆栽の歴史や見方、種類、育て方等を学習していきます。児童は、盆栽関係施設の方の指導のもと、盆栽ボランティアの方の補助をいただきながら、鉢の植付や剪定など世話の仕方を学び、「マイ盆栽」として、一人一鉢自分の盆栽をつくります。5年生の「マイ盆栽」の苗は、卒業生が選定した枝を挿し木として育て、後輩たちの苗として受け継がれています。毎年地域で開催される「大盆栽まつり」でも、「マイ盆栽」を出品し、地域の方々にも見ていただいています。「マイ盆栽」は、児童の委員会活動や盆栽ボランティアの方々のおかげをかりながら、卒業まで継続して世話をし、卒業後も自宅に盆栽を持ち帰り、継続して手入れをしていきます。「マイ盆栽」は、校内の盆栽庭園に並べられ、いつでも自分の盆栽の状況を目にすることができます。低・中学年の児童も、日頃から盆栽庭園の様子を目にすることにより、盆栽をより身近なものに感じられるような環境になっています。

